

TONEL
SCHUR
PRODUCTIES

演出
**VANJA
RUKAVINA**

出演
大道寺 梨乃
近藤 瑞季
**KEJA KLAASJE
KWESTRO
BRAM SUIJKER**

日本語、英語、
オランダ語の字幕付

スーパ
ー
ポジシ
ョン

2023年11月4日
～12月23日

スーパーポジション

文化の違いは数学的に説明できるのか？

数字的なアプローチによって客観的な視点を得れば、私たちはみな同じ存在だと分かるようになるのだろうか？それとも、個人や文化の差異は、私たちが想像するよりも、ずっと深いところにあると分かるのだろうか？

オランダと日本の数学者からなる国際的先鋭チームが、複数の文化の違いを説明する数理モデルを今まさに導き出そうとしている。チーム内での衝突と誤解こそまさに、その数式が必要とされているのを示す最良の証拠なのである。たとえそれが、蛍光灯の眩い光の下、あるいはナイトクラブの薄暗い照明の下であろうと、微分方程式と無理数を熟知した果敢な四人の数学者たちは、異文化のなかの未知の領域に踏み込んでいく。

『スーパーポジション』は、不条理な数式であり、理想的な演劇作品である。オランダと日本、確率と幾何学、男と女、そして玄人と素人の類似点／相違点が対比されていくなか、互いに理解しあいたいと望み、人間の本质を知りたいと願うこと。たとえそれが想像を絶するような困難を要するものであったとしても。

演出 **Vanja Rukavina**

量子レベルでは、素粒子が「重ね合わせ」の状態にあるとき、それは同時に二つ(またはそれ以上)の状態にあります。私自身も二つの文化で育ち、常に二つの異なる環境から情報を得てきました。それぞれの社会を歩き来しながら、いつもつながりと孤独を同時に感じています。また、十二年間日本語を勉強し、日本を何度も旅する中で、アウトサイダーとして第三の文化を垣間見ることや、自分の慣れ親しんだ世界の外に出ることがいかに重要なことかを知りました。それぞれの世界は互いにまったく異なっている、どちらも等しく真実なのです。

クレジット

演出 **Vanja Rukavina**
制作 **De Coproducers**
協賛 **Fonds 21 EXTRA**
出演 大道寺 梨乃、近藤 瑞季,
Keja Klaasje Kwestro, Bram Suijker
ドラマトウルク **Thomas Lamers**
舞台美術+衣装 **Dymph Boss**
音響 **Daniel van Loenen**
映像 **Anouk Steenbakkers**
照明 **Wout Panis**
アドバイザー **Mari Kato, Kiriko**
Mechanicus
宣伝美術 **Annaleen Louwes,**
Esther Noyons

プレイリスト

11月4日～11日
Schoor ハーレム (初演11月9日)
11月15日～16日
De Nieuwe Vorst ティルブルフ
11月17日 - 18日
Theater Ins Blau ライデン
11月21日 - 23日
Frascati アムステルダム
11月25日 - 26日
Corrosia アルメーラ
11月28日
Schouwburg アムステルフェーン
11月29日 - 30日
Theater Kikker コトレヒト
12月1日 - 12月2日
De Lieve Vrouw アメルスフォールト
12月6日 - 7日
Theater a/h Spui ハーグ
12月8日 - 9日
Verkadefabriek セルトーヘンボシュ
12月13 - 14日
Zwolve Theaters ズヴォレ
12月15日～17日
Schoor ハーレム
12月21 - 22日
Theater ロッテルダム
12月23日
Goudse Schouwburg ゴーダ

詳細・チケット予約

[toneelschoorproducties.nl/
superposition](https://toneelschoorproducties.nl/superposition)

オランダ語、英語、日本語字幕